

## 県内景況情報

11月期

## ● 製造業

## 〈食料品〉

## 〔パン・菓子製造業〕

今年11月は、例年であれば年末に向け売上が上がってくるはずが逆に低下している。原因不明。

## 〔その他の製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。消費が伸び悩む中、販売価格の値下げが懸念される。

## 〈木材・木製品〉

## 〔家具製造業〕

依然として売上・資金繰りともに厳しい状況が続いている。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鋳物・鋳鉄〕

受注好調企業の受注ペースが伸び悩んできた。大多数が来春以降の見通しを厳しく見ており、今後の景気動向を注視している。

## 〈一般機械〉

## 〔一般機械器具製造業〕

電気使用量は前年同月比96.7%（前々年同月比106.0%）。

仕事の引合いはあるが、人員が確保できず受注に応じられないケースあり。

## 〈製造業〉

## 〔電気機械器具製造業〕

11月度売上高は、先月より若干減少。（前年同月比でも減少）。産業用ロボット関連は、依然国内外とも好調に推移しており、来月度以降の増産を期待している。

## 〈その他の製造業〉

## 〔豊等生活雑貨製品製造業〕

多忙な店と暇な店が県内全地域で見られ、業界としても、落差の動向に注視してゆかねばならない。

## ● 非製造業

## 〈小売業〉

## 〔食肉小売業〕

暖冬傾向で鍋需要の伸びが小さい分、売上や粗利の伸びが鈍い。人件費上昇。

## 〈卸売業〉

## 〔電気機械器具卸業〕

冬の天候により空調機の売上が左右される。

## 〈商店街〉

## 〔北九州市〕

年明けに2店舗ほど閉店。1店舗が開業する。後継者問題が深刻である。

## 〔大川市〕

地場産業（木工）の冷え込みにより、悪化、また在庫増が目立つ。

## 〈サービス業〉

## 〔ビル管理業〕

当月の売上は、前年同月と比べると約24%の増加、且つ、前々年同月と比べると約2%の売上減少となった。

## 〔洗濯物取次業〕

最近季節の変わり目の衣替えがない。クリーニング離れが生じている感がある。

## 〈建設業〉

## 〔建築工事業〕

材料費の上昇や下請人材の不足の影響から契約金額での利益の確保が難しくなっている。

## 〔倉庫業〕

人員やトラック台数は増加しているが、駐車するスペースが不足している。

## 〔道路貨物運送業〕

11月も各組合員平均で売上は増加しているが、収益はこのところの燃料単価が高騰していることが影響し前年比マイナスとなっている。尚、近日原油価格が低下傾向にあるが、まだ予断は許されない状況である。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

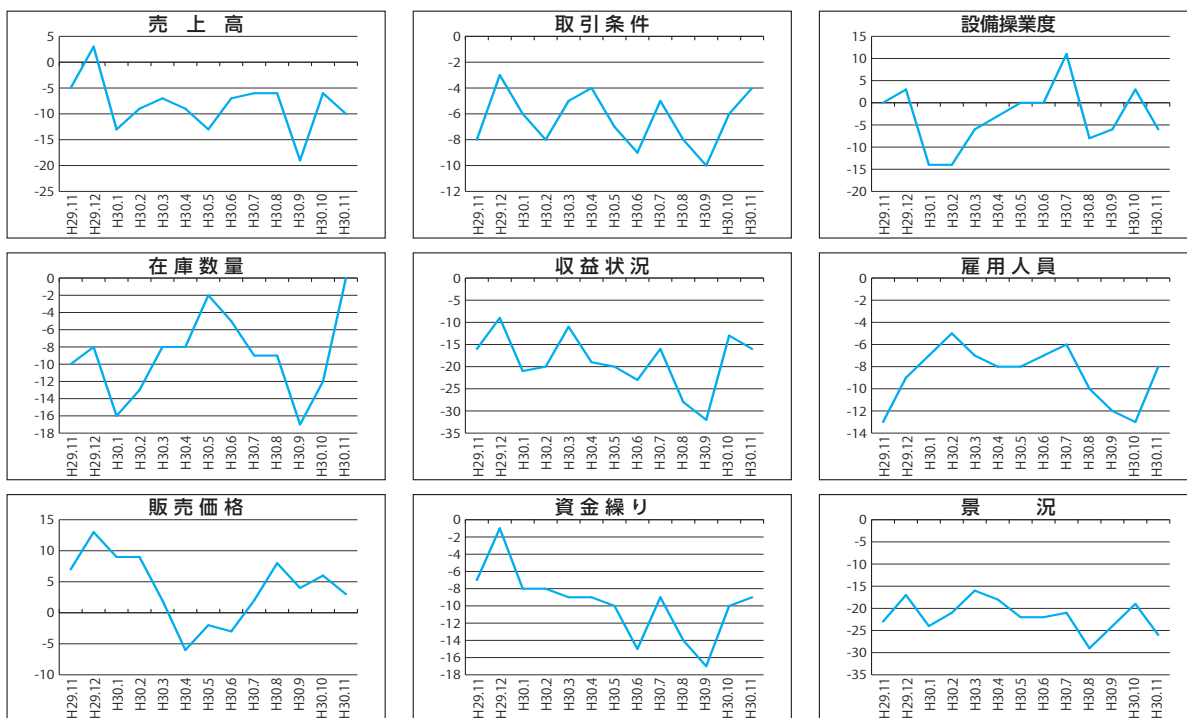
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	繊維・同製品	↓	↓	→	↓	→	↓	↓	↓	↓
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	↓
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	→	→	→	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	↓
D・I		-10	0	3	-4	-16	-9	-6	-8	-26

↑ 増加・上昇・好転    ↗ 増加・上昇・好転の傾向    → 不変    ↘ 減少・下落・悪化の傾向    ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」「増加」したとする割合から「悪化」「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中4項目が上昇した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>